

平成30年度 建設工事安全対策重点計画書

平成30年3月16日
富岡土木事務所

1. 土木部基本方針

【調査設計段階】

①調査設計において、現場条件に合致した施工方法と安全な仮設計画に配慮する。

【発注準備・着工準備段階】

②必要な安全経費の計上と適切な工期を設定する。

③施工計画書が共通仕様書及び現場の施工条件に合致していることを確認する。

【施工段階】

④現場で工程会議を行い、工程が安全管理に問題を生じさせていないか確認する。

⑤工事の進捗に合わせ、安全パトロールを適宜実施し、現場の安全管理体制を確認する。

⑥仮設工が設計通り適切に行われているか確認し、変更が必要な場合は適切に変更設計を行う。

⑦施工状況を確認する際に、安全管理が適切になされているか確認する。

⑧施工条件が当初と異なる場合は、甲乙協議に基づき、適切に設計変更を行う。

【竣工・その他】

⑨供用開始に当たって、安全性が確保されているか確認する。

⑩発注者として安全教育を実施し、安全管理に関する技術力の向上を図る。

2. 事務所重点計画

(1) 平成30年度のスローガン

気を抜くな！ 目指すはゼロ災 安全第一

(2) 具体的な取り組み内容

①監督員は、現場着手前に現場代理人と現場を踏査し、事故因子と対策が施工計画書に反映されているか確認するとともに、施工検査時に安全対策の改善指示を行う。

②係長以上の職員が現場に赴く際は、富士安全パトロールベスト（トラチョッキ）を着用し、安全対策の改善指示を積極的に行う。

③業務担当次長は、四半期毎に所内安全パトロールを実施する。

④所長は、不定期に現場を確認し、必要な安全対策を指示する。

(3) 年間予定表（いつ、何をするのか）

（責任者：職 次長 氏名 唐橋 薫 ）

実施内容	H29年度		H30年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画の策定 (P)		●												
取り組みの実施 (D)	①		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	②		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	③			●				●			●		●	
	④			不定期に現場を確認										
実施状況の評価※1 (C)								●					●	
効果の評価※2・改善 (A)													●	

※1 実施状況の評価：具体的な取り組みについて、実施出来たか否かを評価する。

※2 効果の評価：取り組みにより効果があったか否かを評価する。

◎個別の事故等の事案が発生した場合には、随時原因分析を行い、再発防止策を検討する。